

第 2 次湖南省障がい者の支援に関する基本計画
～みんなでとりくむ つばさプラン～ 改訂版(素案) に対する意見の概要

■パブリックコメント実施状況

実施期間 平成 29 年 12 月 27 日～平成 30 年 1 月 25 日

実施方法 市内公共施設に意見箱設置、市ホームページから募集

意見提出件数：0 件

■湖南省障がい者施策推進協議会からの意見(主なもの)

実施日：平成 30 年 1 月 12 日

・入所施設利用数の計画指標（+ 3 人 H28→H32）について

実態は入所施設を利用する結果になる人もあるでしょうが、今回の第 5 期計画は地域共生社会づくりや地域生活拠点等の整備、自立生活援助事業の創設等、確実に方向は住み慣れた地域での暮らしの実現へとなっています。従って今回の計画においてその方向の志を強く持ち、3 年間に受け入れが出来る地域にしていくための方策を拠点整備等で検討していくことになり、計画の段階ではこの志を表現することが大切だと思います。今後は重度の人も住み慣れた地域で受け止めていくべく、地域生活支援拠点整備をベースにグループホームの整備体制の強化に向けて検討していく必要があると思います。

・湖南省から他府県の施設に入所されている人数を明記することで、入所施設の役割が鮮明になると思います。

・施策 16 「災害への備え」について

障がいのある人にあつた避難所が必要ではないかと思います。

災害時、特に知的障がい児にとっては一般避難所へ行くことは難しい（人混みが苦手、不安も多い、知らない場所へ移動することは大変）。初期の物資の拠点を。

・入所施設がこの地域にあるということが、地域にとっての強みになります。入所施設が地域の貴重な社会資源として地域も捉えて一緒に考えていくことが大事。

・障がい者の計画を立てていく際、障がいのある人を支えていくためサービスを充実させようとするとうちでも財源が増えてきます。限られた財源のなか、事業に対する優先順位も考えていく必要があると思います。